



## ナス共同販売に二歩 農業塾閉講

JA三原西アグリセンターで11月5日、共同販売を目指す生産者育成を目的とした「なす農業塾」の閉講式を開きました。栽培に関する知識や技術を習得した塾生3人が出席。これまでの講習を振り返り、次年度に向けた作業を確認しました。

同塾は、今年度5月に開講。受講者は作業時期に合わせた座学や圃場での実習を通して栽培管理を基礎から学びました。

今年度から本格的にナスの栽培を始めた塾生の一人は「圃場で実際に水管理や誘引方法を見学し、



▲出荷前に品質を入念に確認する森江さん(左)と作業員

## 農閑期活用しカブ生産 産直市で好評

三原市沼田西町の(農)エヒメアヤメの郷は、冬場の農閑期を活用して今年度からカブの生産に乗り出しました。10月下旬からJA産

直市やつさふれあい市場を中心に県内スーパーなどに出荷し、11月下旬には地元市場への供給を開始。年末をピークに1月まで出荷が続きます。

同法人は、水稻やナス、アスパラガスなど年間を通して多様な農産物を手掛ける中、年末に需要が見込めるカブの生産を始めようと圃場3カ所10aに作付けし、栽培に取り組んでいます。

同法人の森江千幸さんは「千枚漬けやなますをはじめ、様々な料理に活用してもらいたい」と話しました。



▲JAひろしま三原なす部会の部会員の圃場で次年度に向けた管理作業を学ぶ塾生

部会の生産者からも直接話を聞いたので非常に勉強になった。学んだことを活かし、出荷を目指したい」と話しました。



## 特産「広島わけぎ」 北海道へ空輸

11月下旬から、全国生産量日本一を誇る特産「広島わけぎ」の北海道への空輸が始まりました。1便で約180kgを積み込み、週2回運ぶ計画。収穫の翌々日には道内に届けることができ、約100店舗を展開する「コープさっぽろ」で販売されます。北海道へ空輸するのは初めてで、これまでは関西地方を中心に販売されてきましたが、一層の販路拡大が期待されます。

JAひろしま三原わけぎ部会の余頃悦男部会長は「まさか『広島わけぎ』が北海道で販売されるとは思っていなかった。産地として品質が良いものをこれからも届けていきたい」と抱負を語りました。



▲特産「広島わけぎ」の初出荷を見送る関係者



## 早生ミカン 出荷最盛期迎える

JAせとだ選果場で11月下旬、早生ミカンの出荷が最盛期を迎えました。今年度は秋口の降雨により減酸と果実肥大が進み、糖酸のバランスが取れたまろやかな仕上がり。着色の遅れがあり、前半の出荷量が少なかったものの後半にかけてペースを取り戻し、1月中旬頃までに前年を上回る800tの出荷を見込んでいます。

同選果場管内では324戸が194haで早生ミカンを栽培。選果場では平均30tを連日選果しており、多い日は50tに上ります。作



▲丁寧に選果される早生ミカン

業員が品質を確認し、光センサーで糖度と酸度を計測。規格ごとに選別し、県内や東京の市場に出荷します。



## 水 稻

### 耕うん作業

耕うん作業は、土壌の物理性(通気性、排水性、保水性など)を改善することを主な目的として行なわれ、土壌の化学性、生物性を改善する土壌改良材や堆肥と並んで、重要な「土づくり」といえます。

現在主流となっているトラクタを用いたロータリ耕では、上層と下層の土を反転させる「耕起」と、土を細かく砕く「砕土」を同時に行なうことができます。

固まった土を砕きながら攪拌し、必要な水分や養分を十分に吸収できる土壌を作ります。

ただし、作土全体に細かい土塊が分布することになるので、作土層の下に耕盤層が形成されやすくなり、トラクタが大型化するほど硬くなり

硬い耕盤層ができると土壌が還元化(酸欠)しやすくなり、様々な障害が発生しやすくなります。

適正な耕深は、土性によって異なります。目安は粘土質で10~12cm、壤土質で14~16cm、砂質で16cm以上です。粗粒の土壌ほど深く耕すことが大切です。

ただし、水分を多く含んだ状態での耕うんは、土が練られて硬くなり、圃場の排水性を悪くしてしまします。

圃場の土性や水分状態をしつかりと観察し、健全な根圏環境を作ることとを心がけながら作業しましょう。

また、耕うん爪がすり減った状態では、耕うんの効率が悪くなります。最も摩耗している部分の幅が25mm以下(500円硬貨の直径くらい)になると交換時期です。



## 柑 橘

### 貯蔵管理

品種ごとに貯蔵の温度・湿度が異なるため、温湿度計を設置して適正な環境となるよう管理を行ってください。

品 種	貯蔵温度	貯蔵湿度	貯蔵等の注意事項
ネーブル	6~8℃	85%	コハン症は低温・乾燥で発生しやすい。粘性果は入庫過多、換気不足で発生しやすい。
八 朔	5~7℃	90%	乾きやすい所では、湿度保持に有孔ポリを利用する。コハン症は10℃で発生し始め、15℃で多発する。乾燥に注意する。
はるみ	6~8℃	85%	自然予措を行ない、貯蔵を行なう。コンテナ貯蔵では、5~6分目入りとし妻面をあけて新聞紙で包装する。※カラーリングは行なわない。
しらぬひ	2~8℃	85~90%	・通常(貯蔵期間1ヶ月程度の場合) ①サンテ、紙袋を掛けた果実は、収穫後そのまま常温で保管し、出荷7日程度前に取り出して果梗枝を切り返し、自然予措後選果する。 ②裸の果実は果梗枝を切り返し、コンテナでの新聞紙囲いで貯蔵する。 ・酸の高い果実(貯蔵期間2ヶ月程度の場合) サンテ、紙袋から出して、自然予措で3%程度予措(2週間程度)する。予措後、新聞紙囲いで貯蔵する。

### 病害虫防除

収穫が終わった品種でカイガラムシ類の被害がある場合は、機械油乳剤95を30倍で散布ムラがないよう樹の上部や内部まで丁寧に散布します。密植園や枝が混み合っている樹では薬剤がしっかりと付着しないため、枝抜きなどで薬剤が樹の内部ま

## 落葉果樹

### 整枝・せん定

先月に引き続き、整枝・せん定を行ないます。以下の内容を参考に進めてください。

#### ①整枝・せん定の目的

- ・枝や葉の成長と果実の成る数を調整し毎年収量を上げられるようにする。
- ・樹全体に光があたるように枝を配置して品質の揃った果実を生産する。
- ・薬剤散布や収穫・摘果などの作業性を良くする。

#### ②品目ごとの結果習性

果樹の結果習性とは、どのような枝に実をならせるかという品目ごとの習性を意味します。新梢に果実をつけるものと前年枝につけるものと分けられます。

- ・結果枝タイプ：昨年伸びた枝に花芽をつけ開花結実する。  
モモ、ナシ、ウメ、リンゴなど。

でかきやすい環境にして防除を行ないます。厳冬期は落葉を促進する恐れがあるため、散布を控えるようにしてください。散布の際は樹勢維持のため尿素200倍を混用します。ただし樹勢が低下している樹では散布しないでください。



・結果母枝タイプ：今年発生する枝に開花結果する。  
ブドウ、カキ、イチジク、キウイフルーツなど。

### ③ 樹を構成する枝の名称

・主幹：地際の土台となっている幹部分。  
・主枝：主幹から発生する幹について太い骨組みとなる枝で、2〜3本とする。

・垂主枝：主枝から分岐した枝。主枝と並んで骨組みになる枝で、一つの主枝に2〜3本とする。  
・側枝：主枝や垂主枝から発生し結果母枝や結果枝をつける。側枝は3年くらいを目途に更新する。

### ④ 樹形・樹姿

・基本的な樹形：主枝が3本の開心自然形または2本の双幹形  
・ブドウ：長梢せん定仕立て（X型自然形整枝）、短梢せん定仕立て（平行型整枝）

### ⑤ 枝の切り方

・切り返し：昨年伸びた枝を途中で切る方法。先端部を強く伸ばして骨格となる枝（主枝や垂主枝）を育てる（樹冠拡大を図る）場合、結果枝や側枝の先端を弱らせない場合、先端が垂れた枝の勢力を回復したい場合などに行なう。  
・間引き：不必要な枝を除くときの切り方。せん除したい枝の発生位置（分岐部分）まで戻って切り、新たに枝が出ないようにする。込み合った枝や重なった枝を除く場合や残

したい枝と太さが競合する枝を除く場合などに行なう。

### ⑥ せん定の順序

基本的には主枝↓垂主枝↓側枝の順に処理する。主枝背面や垂主枝の分岐点近くに発生した強勢な枝は除去する。主枝、垂主枝の先端は一本にして切り返す。側枝は垂主枝よりも強くしないように整理する。せん定後、切り口の処置にはトップジンMペーストなどの癒合剤を塗布し、枯れこみ等を防ぐ。

せん定で除去する枝の例：平行枝・車枝・逆向枝・交差枝・下垂枝・徒長枝など

### ⑦ せん定鋏、鋸について

自分の手にあったせん定鋏や鋸を使用する。

### おすすめのせん定資材



プロせん定シルバー  
フッコーン性がある  
握りやすい。



せん定ノコ(大地)・・・耐久性に優れる。また、専用替え刃を使用することで繰り返し使用することができる。



電動せん定鋏(コードレス)  
電動のため、力を使わず枝を切ることができます。ただし、使用の際は誤って指をはさまないように十分注意します。



太枝切り鋏・・・やや太い枝を切る時やせん定した枝を片付ける時に処分しやすいように細かくするために使用できる。

## 家庭菜園

一月は一年で最も寒くなる「大寒」にあたります。無理をせず農作業を行なってください。また、早朝の収穫では凍結により割れてしまうところから収穫作業を行なうようにしましょう。さて、今月は作付けできる作物が少なく、今年の作付けについて思いを巡らしていることかと思ひます。そこで、今月は連作障害についてご紹介いたします。

### 連作障害とは…

同じ場所に同一グループの作物を複数年にわたって栽培した際に発生します。作物によって障害が発生しやすいもの、しにくいものがあります。

- 連作障害の原因は、大きく分けて以下の四つがあります。
- ① 特定の作物を侵す病原菌や害虫の多発
  - ② 特定の養分の不足
  - ③ 作物自身が排出した分泌物による自家中毒
  - ④ 土が固くなるなどの土壌の物理性の悪化

	品 目
連作障害が出にくい作物	ウリ科（カボチャ）アカザ科（ホウレンソウ）ヒガンバナ科（ニンニク、玉ねぎ） など
1年以上作付けを休む	キク科（レタス）セリ科（ニンジン）アブラナ科（カブ、ブロッコリー、大根） など
2年以上作付けを休む	アブラナ科（白菜、キャベツ）バラ科（イチゴ）ユリ科（ニラ） など
3年以上作付けを休む	ナス科（馬鈴薯）ウリ科（キュウリ）サトイモ科（サトイモ）マメ科（大豆） など
5年以上作付けを休む	ナス科（トマト、ナス、ピーマン）ウリ科（スイカ）マメ科（エンドウ） など

※同じ品目だけではなく、同じ科の作物でも連作障害が発生しやすくなります。  
(例 ナス科…ナス・トマト など)

### 連作障害への対策は…

- ① 輪作
- ② 堆肥・肥料・農薬の使用
- ③ 接ぎ木苗の利用

輪作とは、区画をわけて同一グループの作物を連作しないように順番に栽培する手法です。圃場が限られている場合は、そのほかの手法を試してみてください。

連作障害の発生しやすさについては表を参考にしてください。同じ品目はもちろん同じ科の作物でも連作障害が発生しやすくなります。それぞれの作物や圃場によって大きく異なることがありますので、必ずしもこの表のとおりには作付けを休まないといけないわけではありません。

# Information お知らせ

## ふれあいまつり

J A三原支店駐車場で11月15日、組合員・利用者への日頃の感謝を込めて「ふれあいまつり」を開きました。「地産地消」をテーマに、管内産の農産物を使った飲食販売を始め、干本くじや缶バッジ作り、農機の乗車体験など子どもから大人まで楽しめる企画を準備。多くの来場者でにぎわい、組合員や地域住民との交流を深めました♪



▲管内産ミカンジュースやポップコーンの販売



女性部

◀わけぎをトッピングした米粉入りうどんの販売



瀬戸田町産ミカンやナス、農業体験で収穫したサツマイモの詰め放題を実施!



こんなに詰めたよ～!



青壮年連盟

▲地場産新鮮野菜の販売&活動紹介

## もっと! みはらニュース!

### 10/30 第19回JA杯グラウンド・ゴルフ大会

本郷総合公園でグラウンド・ゴルフ大会が開かれ、交流を深めました♪



1



## 2月 お知らせカレンダー

※予定が変更する場合があります。ご了承ください。

【アグリセンターの休日】

三原 三原西 本郷 久井 鷺浦 せとだ 竹原

【営業時間】

8:30～17:00

【年金相談会 開催時間】

10:00～16:00

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
三原						三原	三原			三原		年金相談会 本郷中央支店	三原	三原						三原	三原	三原					三原	
三原西						三原西	三原西			三原西			三原西	三原西							三原西	三原西	三原西					三原西
本郷						本郷	本郷			本郷			本郷	本郷							本郷	本郷	本郷					本郷
久井						久井	久井			久井			久井	久井							久井	久井	久井					久井
鷺浦						せとだ	鷺浦			鷺浦			せとだ	鷺浦							せとだ	鷺浦	鷺浦					せとだ
せとだ						竹原	せとだ			せとだ		竹原	せとだ							竹原	せとだ	せとだ					竹原	
竹原							竹原			竹原			竹原	竹原							竹原	竹原						